

2007/05/21-18:05 李登輝前総統、30日から来日 = 政府、対中関係への影響懸念

台湾の李登輝前総統が30日から6月9日までの日程で来日することが21日、固まった。関係者によると訪日は「私的な旅行」が目的だが、東京での講演や記者会見も予定され、中国の反発が予想される。政府は、ドイツでの主要国首脳会議(サミット)に合わせた安倍晋三首相と胡錦濤国家主席の首脳会談開催を検討しており、日程調整に悪影響を及ぼすことへの懸念も出ている。

李氏の来日は、中嶋嶺雄・国際教養大学学長の招きに応じたもので、2004年12月から05年1月に京都や金沢を旅行して以来、政府は台湾の観光客へのビザ(査証)を免除しており、李氏もビザなしで来日する。李氏は6月2日から、松尾芭蕉が「奥の細道」で巡った宮城県の松島や岩手県の中尊寺などを訪れる。

<http://www.jiji.com/jc/c?g=pol&k=2007052100751>